古河市多文化共生推進指針概要

「**多文化共生**」とは
国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

古河市の現状
古河市における外国人人口は令和7年4月1日現在で5,987人であり、県内で4番目に多く、総人口の4.2%を占めている。また、10年前と比較し、2倍以上増加している。

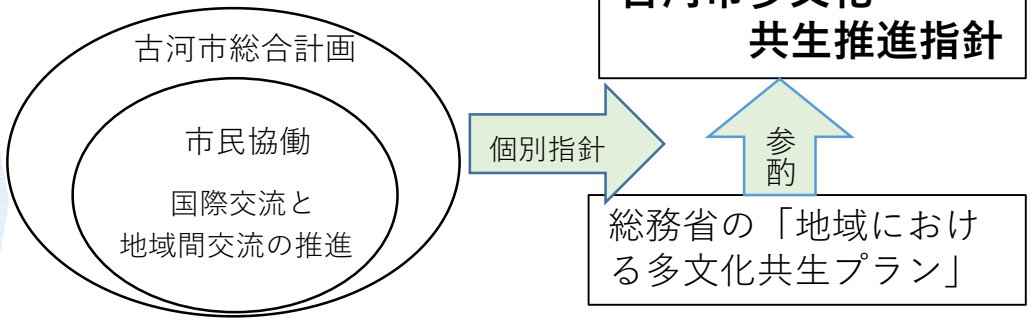
策定の目的

近年の外国人住民の増加や社会情勢の変化に伴い、行政のみではなく、地域社会一体となって多文化社会の構築を目指す。

古河市SDGs未来都市計画

「誰一人取り残さない包摂社会」

指針の位置づけ



取り組み期間

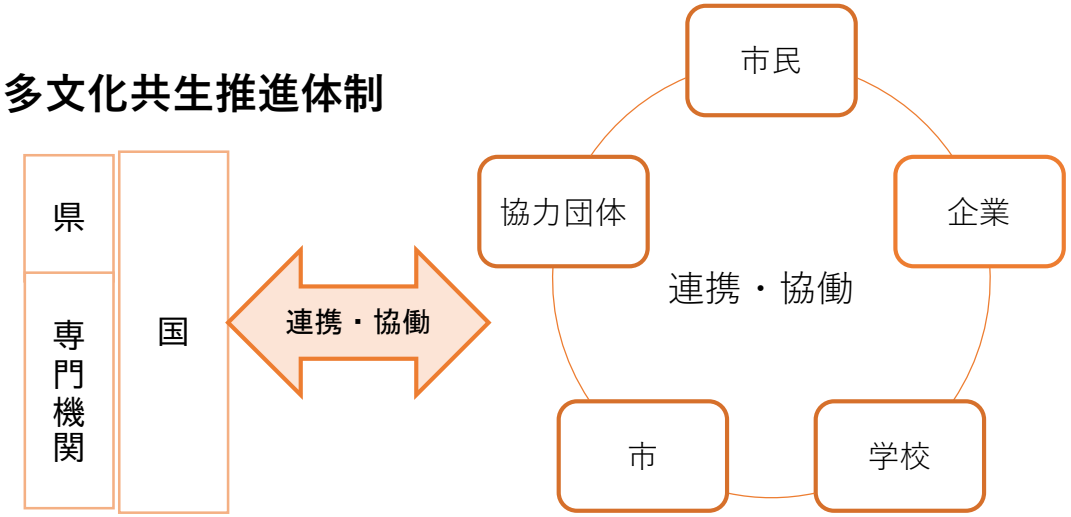
・第2次古河市基本構想に合わせ、令和7年度を初年度とし、令和17年度を終期とする11年間
・当面の取り組み期間を、SDGs達成目標である令和12年度とする。

基本的な考え方

基本理念：「互いを認め　みんなで創ろう　多文化共生のまち古河」

基本施策

多文化共生を推進するため４つの視点から施策を展開

- コミュニケーション支援
- 生活支援
- 意識啓発と社会参画
- 地域活性化・グローバル化

多文化共生推進体制